

【今どきの若手社員育成講座】
～社員の多様性を受け入れ客観的に対応できるスキルを学ぶ～

講師：華 多真美

【講座の目的】

世代と価値観の異なる新入・若手社員との接し方、育成に戸惑いを感じている上司の方々に、改めて若手社員の価値観や考え方の傾向を知っていただきます。

そっけなく見えても心の中では「できたらいいな」「やってみたい」と考えていたり、自信がないから手が出せない、という人もいます。

感情表現や意思の表明をできなかったためにその方法が分からない、という若手社員を育てるのは子育てと同じで時間がかかります。

しかし上手くアプローチし、気持ちを引き出しながら付き合っていくと取り組み姿勢や表情は必ず変化します。

また、自分の仕事しかないというタイプの人は、その過程で、仕事は一人でするものではないということも理解していきます。このような関わりのための考え方やスキルの基本をお伝えする2時間です。

【カリキュラム（2時間）】

	テーマ	内容
1	若手社員を理解する	1) 若手社員の働く価値観 2) 感情表現が苦手、自信が持てない 【講義】
2	部下の自己効力感を高める	1) 自己効力感とは 2) 自己効力感を持たせる上司の関わり方 3) ティーチングとコーチング 【講義、ワーク】
3	面談に生かすコーチングスキル	1) コーチングの仕組み 2) 信頼—答えは相手の中にある 3) 質問の力をつける 【講義、ワーク】

【この講座でできるようになること】

- ・自分と異なる価値観を認め、その上で客観的に対応を考えられるようになる。
- ・日頃ちょっとした折にも、部下に関心を寄せていると伝わる関わりができるようになる。
- ・答えを与えず考えさせるために必要な忍耐とコーチングのスキルを実践できるようになる。